

一般社団法人 岐阜県臨床検査技師会
平成 27 年度 定時総会 議事録

1. 開催日時 平成 27 年 6 月 14 日（日） 14 時 45 分～16 時 00 分
2. 開催場所 ふれあい福寿会館 3 階 中会議室（301）
〒500-8384 岐阜市藪田南 5 丁目 14-53
3. 出席正会員数及び書面評決数（14：45 現在）
正会員総数 801 名に対し 613 名（出席正会員 73 名、書面評決 540 名）
4. 議案 第一号議案 平成 26 年度事業報告、決算報告、監査報告について
5. 進行
 - 1) 司会者 藤井泰三 理事
 - 2) 開会の辞 諏訪 浩 副会長
 - 3) 会長挨拶 兼子 徹 会長
 - 2) 諏訪副会長より「若い人のますますの活躍を期待しています」と一般社団法人岐阜県臨床検査技師会平成 27 年度 定時総会の開会の辞があった。
 - 3) 会長より開会に当たり挨拶があった。
「昨年の 4 月 1 日より新法人となり、新法人移行に際し、法人対応部の鈴木理事のご尽力と、会員のみな様の一方ならぬご理解、ご支援のおかげで移行する事ができました。一方、定款も新しくなり、県民のみな様を健康に保つためには、情報をお知らせし、行政の事業にも参加し、検査技術の向上を図る様な卒後教育をする。また、目的を達成するために多くの事業を行ってきました。これも、皆様のご尽力で成し遂げることができました」との挨拶があった。
 - 4) 総会の議長選出
議事に入る前に出席者に対して議長の選出を行った。会場より執行部一任との意見があり、司会者が議長として 2 名を指名した。
議長 平沢弘行先生（岐阜県総合医療センター）
森さゆり先生（岐阜中央病院）
以上 2 名が指名され承認を得た。
平沢弘行先生と森さゆり先生の挨拶があった。
 - 5) 総会役員を選出
議長の森先生により総会役員を選出が行われた。議長一任で行う事で承認を得た。

書記 藤井泰三先生と古池美奈子先生が指名された。

資格審査委員 岐阜地区の青木幹根先生、帖佐光洋先生、森晴雄先生、西濃地区の関敏秀先生、飛騨地区の和田久男先生、中濃地区の高崎昭彦先生、東濃地区の可児泰正先生が指名された。

議事録署名人 議長の平沢弘行先生、森さゆり先生、兼子徹先生、藤井泰三先生が指名された。

以上の役員が承認された。

6) 資格審査報告が、関先生よりあった。

14:45分現在、総会出席者73名、書面評決が540名、合わせた613名となり、6月9日現在岐臨技正会員数801名であることから、過半数となり、定款第19条と21条により本総会が成立したとの報告があった。

7) 議案審議

第1号議案についての審議が平沢議長により行われた。

事業報告（総括）、平成26年度事業報告・決算報告と監査報告について説明があった。

事業報告（総括）が兼子会長よりあった。

当技師会の目的を達成のためには、議案書にある1～10の事業を行うと定められている。この目的を達成するために平成26年度の事業を行った。

平成25年度に行われた事業は、引き続き平成26年度も行ったが、事業によっては、細かな内容や、実施回数などが異なっている場合がある。

新規事業として「検査説明・相談ができる検査技師育成講習会」を実施した。

「検査説明・相談ができる検査技師育成講習会」は、平成26年度から3年間の期限限定で実施する。

会員名簿の発行が延期されていたが、今年度発行した。

廃止もしくは休止となる事業は無かった。

平成26年度の主催事業は、岐阜県医学検査学会、拡大研修会、各研究部門の研修会などで、議案書に開催回数が記載されている。

臨床化学分析部門と臨床検査総合部門は開催回数が1回になっているが、合同研修会を多く行っている。

精度管理の開催数3回は、試料発送、総括集の発行、報告会の開催で、総計53の事業を行った。

他団体主催の事業には、各地区の健康イベント、エイズ予防・啓発活動、HIV検査会に参加した。また日臨技中部圏支部研修会（微生物・血液）を岐阜県下で開催した。

会議、作業、出張等が76回、総合計137回の事業等を行った。

各月の代表的な事業を、表に沿って説明があった。

事業数は日当が支払われたもののみを計数した事が報告された。

学術部近藤部長より事業報告があった。

各種学会では、第63回日本医学検査学会が、平成26年5月17～18日に新潟で行われ、岐阜県から8演題の参加、座長1名の参加があった。

第53回中部圏支部医学検査学会が平成26年9月27～28日に富山国際会議場で開催され、岐阜県より13演題、座長7名、シンポジウム1名の参加があった。

第53回岐阜県医学検査学会が平成27年3月22日に大垣市情報工房で開催され、19演題、座長7名の参加があった。

拡大研修会は、春季拡大研修会が西濃地区担当で平成26年6月1日に大垣市情報工房で開催された。また、秋季拡大研修会は、飛騨地区担当で、平成26年11月23日に下呂市交流会館で行われた。

部門研修会では、生物化学分析部門で4回、臨床生理部門が4回、臨床一般部門で5回、臨床血液部門で5回、病理・細胞診部門で5回、臨床微生物部門で6回、輸血・細胞治療部門で7回、染色体・遺伝子部門で0回、臨床検査総合部門で2回開催されたとの報告があった。染色体・遺伝子部門では、他の部門と合同開催を予定していると報告があった。

新人サポート合同研修会が平成26年7月20日に岐阜医療科学大学で開催された。

日臨技委託事業は、臨床微生物部門が平成26年11月8日にホテルパークで、臨床血液部門が平成26年12月13～14日に岐阜大学医学部記念会館で開催された。

講演・その他では、4回開催された。

岐阜県臨床検査技師会会誌に4つの投稿があり、3月末に発行したと報告があった。

精度管理事業部多和田部長より事業報告があった。

活動目標：精度管理参加施設の拡充（販売形式の導入と評価結果へのフォロー）で、今回、販売形式で新たに試みた。

平成26年

4月26日 JAMTQC 使用申請書し、5月14日に運用可能となった。

5月11日 日臨技データ標準化事業全国代表者担当者会議に出席した。（日臨技会館）

6月2日 精度管理調査案内発送した。 臨時便（学術案内）

6月2日～6月30日 参加申込み受付69施設あった。（メーカー 17, 医療施設 52）

7月1日～7月13日 問屋経由参加申込み受付2施設あった。（医療施設 2）

7月1日 福岡県臨床衛生検査技師会の友松哲夫会長へ、プール血清譲渡申請書郵送した。

8月11日 Photo 設問締切日とした。

8月15日 第1回精度管理事業部会を行った。 18:30～21:30

場所：岐阜県臨床検査技師会事務所 出席：11名

参加状況報告。調査項目・設問内容確認作業。試料発送作業打ち合わせ。今後の日程確認。

8月20日 精度管理試料事前予告通知書、「日臨技精度保証施設認証制度」申請について発送した。

8月24日 精度管理調査試料発送作業を行った。11:00~16:00 場所：岐阜市民病院
(試料・納品書・見積書・請求書) 出席：15名 11時より HbA1c、CBC 採血・
分注作業 13時半より 試料梱包作業 15時半 郵便局に渡す
※試料配布ミスが2施設あり追加発送 2施設行う
※試料問題 HbA1c CBC

8月25日~9月8日 を回答期間とした。

9月15日 一次集計作業締切日とした。

9月24日 Web公開した。

10月1日 一次評価速報案内。精度管理報告会特別講演について日臨技講師申請書を提出した。

10月 部門検討会または2次サーベイを実施した。

10月20日・21日 救済措置日を設けた。

11月4日 平成27年度 血液譲渡変更・追加申請書を日本赤十字社に提出した。(次年度より有料化)

11月7日 第2回精度管理事業部会を行った。18:30~21:00

場所：岐阜県臨床検査技師会事務所 出席：14名

最終評価確認。問題点の把握。報告会・総括集の手順説明。共用基準範囲について。

12月1日 総括集の原稿を締切った。

12月2日 総括集の初校作業を行った。 18:30~20:30

場所：岐阜県臨床検査技師会事務所 出席：3名

12月9日 総括集の再校作業を行った。 18:30~20:30

場所：岐阜県臨床検査技師会事務所 出席：3名

12月12日 総括集の最終校作業を行った。 18:30~20:30

場所：岐阜県臨床検査技師会事務所 出席：3名

12月19日 総括集が納品された。

12月20日 参加証・成績書・総括集・精度管理事業部報告会案内・精度管理報告会資料印刷の方法案内を発送した。

平成27年

1月18日 報告会資料集をJAMTQCに登録する事を締切った。

1月19日 報告会資料集をWeb公開した。

1月25日 第3回精度管理事業部会を行った。 10:00~12:00

場所：東海中央病院小会議室 出席：16名

今年度の反省点、次年度の改善点。次年度調査項目・試料変更。次年度スケジュール決定

1月25日 精度管理報告会が東海中央病院 大会議室で開催された。

特別講演：「日臨技精度管理事業と認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師制度+共用基準範囲の動向」について名古屋大学病院 松本裕之日臨技副会長

参加者：会員 83人、非会員 1人、協賛施設（メーカー）13人、合計97人

2月6日 精度管理報告会の助成金決算書を登録した。

2月6日 平成27年度 精度管理調査 JAMTQC 使用申請書を提出した。

2月18日 JAMTQC 使用許可が降りた。

3月20日 共用基準範囲に関する案内をした。

結果：会員枠を問わず新たな勧誘方法で精度管理参加を募ったが、参加数の増加には至らなかった。精度管理調査の結果に対して各部門の援助体制を開始した。初年度であり十分とは言えないが今後さらに充実を図りたいとの報告があった。

施設認証の取得が岐阜県は、既に16施設あり「ご協力ありがとうございました」との報告があった。

組織調査部臼井部長より事業報告があった。

1 啓発および保健衛生事業

(1) 市民健康まつり

① 平成26年度 第20回やさか福祉健康まつりに運営参加した。

日時：平成26年6月1日（日）10:00~14:00

内容：骨密度測定、頸動脈エコー

場所：中津川市坂下総合体育館

技師派遣：2名

② 平成26年度 第25回高山市市民健康まつりに運営参加した。

日時：平成 26 年 10 月 5 日（日）8:30～15:00

内容：血管年齢測定、骨密度測定

場所：高山市保健センター1階

技師派遣：16名

- ③ 平成 26 年度 大垣市市民の健康ひろばに運営参加した。

日時：平成 26 年 10 月 19 日（日）9:00～15:00

内容：血管年齢測定、骨密度測定、生活習慣病の予防啓発

場所：大垣城ホール

技師派遣：9名

- ④ 平成 26 年度 岐阜市健康まつりに運営参加した。

日時：平成 26 年度 11 月 2 日（日）10:00～15:00

内容：尿検査、血管年齢測定、目で見えるがんコーナー

場所：岐阜市民文化センター

技師派遣：44名

- (2) HIV・STI 予防に関する事業を行った。

- ① 大学祭での予防啓発活動（関連グッズ配布及び説明）

岐阜経済大学 平成 26 年 11 月 15 日（土）10:00～13:00

技師派遣：7名

- ② 平成 26 年度 MSM 対象無料 HIV 検査会を行った。（主催 岐阜県健康福祉課）

ハートフルスクエアG 平成 27 年 1 月 31 日（土）13:00～18:30

技師派遣：6名

- 2 平成 26 年度 功労者表彰対象者、永年職務精励者選出した。

- 3 平成 27 年度 「岐臨技 検査と健康展」の開催を検討するとの報告があった。

広報宣伝部森本部長より事業報告があった。

会報「ぎふ臨技」を発行した。

<内容>

- ① 「部門」別研修会案内の掲載
- ② 臨床検査関連の学会案内の掲載
- ③ その他、関連団体からの案内の掲載

<発行実績>

技臨技会報 第 29 号発行（平成 26 年 8 月 20 日）

技臨技会報 第 30 号発行（平成 26 年 9 月 20 日）

技臨技会報 第 31 号発行（平成 26 年 10 月 20 日）

技臨技会報 第 32 号発行（平成 26 年 11 月 20 日）

技臨技会報 第 33 号発行（平成 26 年 12 月 20 日）

技臨技会報 第 34 号発行（平成 26 年 1 月 20 日）

技臨技会報 第 35 号発行（平成 26 年 2 月 20 日）

技臨技会報 第 36 号発行（平成 26 年 3 月 20 日）

以上会報は 8 回発行したとの報告があった。

法人対応部鈴木部長より事業報告があった。

平成 26 年 4 月 1 日付けにて、一般社団法人岐阜県臨床検査技師会の設立

- ① 一般社団法人岐阜県臨床検査技師会の登記簿登録が完了した。（4 月 8 日）
- ② 平成 26 年度第 1 回定期総会にて平成 26 年～27 年度新理事・監事の承認（6 月 1 日）を得た。
- ③ 平成 26 年度第 1 回定期総会にて諸規定の報告をした。（6 月 1 日）
- ④ 平成 26 年度第 1 回定期総会終了後、一般社団法人岐阜県臨床検査技師会理事会（新理事）にて、会長・副会長・常務理事（会計・庶務）の選任を行った。（6 月 6 日）
- ⑤ 一般社団法人岐阜県臨床検査技師会における新理事登記完了した。（8 月 18 日）
- ⑥ 県医療整備課へ、
一般社団法人岐阜県臨床検査技師会の登記完了の報告をした。（4 月 11 日）
一般社団法人岐阜県臨床検査技師会としての公益目的支出財産額の提出をした。（6 月 2 日）
一般社団法人移行時における公益目的財産額が確定した。（7 月 1 日通知）
公益目的財産額 13,367,094 円
公益目的支出計画実施期間は 13 年間で行うとの報告があった。

庶務部藤井部長より報告があった。

1) 庶務部及び事務員の業務

1. 研修会・連絡事項等の発送をした。（毎月 20 日）
2. 理事会・常務理事会・委員会の開催案内送付をした。（メールにて）
3. 事務所使用管理を行った。
4. 日臨技・各種団体・会員・賛助会員よりの問い合わせ等の対応をした。
5. 各種の書類管理を行った。
6. 会員名簿の作成を行った。
7. 議事録の作成を行った。
8. 会費管理に関する事項の対応をした。
9. 各地区の健康祭り参加申請書の対応をした。
10. 定時総会出席者の日臨技生涯教育研修制度への登録をした。
11. マンション管理組合総会へ出席した。

2) 事務所使用状況

1. 岐臨技役員主催による会議等

理事会・常務理事会・精度管理部会議・検査説明相談会議・岐阜市健康まつり等で使用された。

2. 一般会員の使用は無かった。

3) 事務所の鍵管理状況について

平成 26 年 4 月 1 日より平成 27 年 3 月 31 日の期間において、鍵（7 本及び予備 1 本）の管理状況は、紛失などの届出はなく適正に管理されていた。

4) 理事会・常務理事会

理事会 6 回（4 月、6 月、8 月、10 月、12 月、2 月）に開催。

常務理事会 6 回（5 月、7 月、9 月、11 月、1 月、3 月）に開催したとの報告があった。

会計部柴部長より決算報告があった。

1. 「収支計算書」は予算額と決算額を比較表示しています。

次に主な増減事項を説明します。

経常収益の①「入会金・会費収入」の「正会員会費収入」の増加は会員数の増加によるもので、卒後教育の場を提供することや精度管理調査など、岐臨技の事業にある程度の評価をいただけているのではないかと考えられます。

経常収益の③「交付金等収入」の「公益事業交付金収入」の減少は、日臨技からの「STI 予防啓発」と「がん予防啓発」事業向けの交付金が無くなったため、減収となりました。

経常費用の①「事業費」の「旅費交通費」「食卓費」の減少は、岐阜県医学検査学会・拡大研修会の昼食をランチョンセミナーとし企業に負担いただいたため減少しました。

経常費用の①「事業費」の「通信運搬費」「ホームページ維持費」は、予算にサーバー移行費用を含め 800,000 円 を計上しましたが、実際には 257,325 円 と少額であったため減少しました。

経常費用の①「事業費」の「印刷製本費」「製本費」が少なかった主な理由は、平成 25 年度予算に「名簿製本費」660,000 円 を計上しましたが、平成 25 年度内に発行出来ず、平成 26 年度に予算を移しましたが、実際の名簿製本費は 213,192 円 と少額であったため減少しました。

経常費用の①「事業費」の「諸謝金」「講師等謝礼金」は春季・秋季拡大研修会や各研究班研修会で想定以上に多くの講師を招聘したため増加しました。優秀な講師を多く招きたいという、実行委員・研究班の皆様の思いが反映したものであると思います。

2. 「正味財産増減計算書」は前年度と当年度の決算額を比較表示しています。

次に主な増減事項を説明します。

経常収益の②「事業収入」の「研修会等参加費収入」の増加は、主に「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会」の参加費によるものです。

経常収益の③「交付金等収入」の「公益事業交付金収入」の減額は「収支計算書」と同じ理由で、交付金が無くなったためです。

経常費用の①「事業費」の「印刷製本費」「製本費」の減少は、主に前年度発行した「岐臨技 60 周年記念誌」分の減少によるものです。

経常費用の①「事業費」の「諸謝金」「講師等謝礼金」の増加は「収支計算書」と同じ理由で、多くの講師を招聘したため増加しました。

3. 「貸借対照表」と「財産目録」の負債の部「前受金」は、平成 27 年度分の入会金・正会員会費と春季拡大研修会の広告費が 26 年度中に入金があったものと報告があった。

事業監査報告、会計監査報告が渡邊監事よりあった。

平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日までの業務及び財産の状況等について監査しました。監査方法の概要は、理事会に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産を調査しました。また、事業報告並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類の監査を実施しました。

監査結果

1. 事業監査は法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
2. 理事の職務の執行に関する不正な行為または、法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
3. 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、計算書類の記録と合致しているものと認めます。
4. 計算書類は、法令及び定款に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めますとの報告があった。

以上の第一号議案に対して、平沢議長より審議を求めた。会場より特に意見・質問はなく採決が行われた。

総会出席者中、承認する 73 名、承認しない 0 名、棄権 0 名となりました。

書面評決では、承認する 539 名、承認しない 1 名、無効 6 名となりました。

承認するが総計 612 名となり、今回の議案を原案通り可決となった。

議長より、この機会に執行部あるいは日臨技に何か意見・質問のある方はありますかとの意見を求めた。

大垣市民病院の石郷先生より意見があった。

現在使用している岐臨技の事務所の耐用年数が残り少ないのではないかと、耐震工事もされていないのではないかと。今後事務所を新しくするのか、このままで行くのかを会員の人たちに示して欲しいとの意見があった。耐震に関してはマンション管理組合か

ら耐震に問題があるとは聞いていないとの回答があった。また、今の所、事務所の移転は考えていないとの会長の回答があった。


石郷先生より、事務所はかなり老朽化しているので、今後移転を考えて欲しいとの意見があった。


日臨技会員＝地臨技の会員ではない。同じ社団法人でありながら別個の会員となる。現在日臨技だけの会員はいるが、岐臨技だけの会員はいないとの説明があった。


5. 閉会の辞

閉会の辞を浅野副会長よりあった。

今回の議案に対してご理解をいただきましてありがとうございます。今年度も多数の行事があります。この様な行事を行って行く上で、地区理事の皆さん、会員の皆さんの力が無くしては成り立ちませんので、今年 1 年ご支援とご協力をお願いします。技師会に対して何か意見・質問等があれば、遠慮なく言ってくださいとの挨拶があり、総会が終了となった。

会長 藤子徹 

議長 平沢弘行 

議長 森さゆり 

議事録作成者 藤井泰三 